

2014年度 第17回 関西まちづくり賞 表彰式を開催

関西支部では、1998年から「関西まちづくり賞」を設け、まちづくり、都市計画の進歩・発展に著しい貢献をした優れた成果又は実績を表彰しています。2014年度は、特別賞（都市再生賞）を含む4つのプロジェクトを選定しました。

表彰式は、2015年4月4日、支部総会に引き続いて実施し、表彰状及び楯の授与の後、受賞者によるプレゼンテーションと、関西まちづくり賞委員による講評を行いました。



表彰式の様子：受賞者のみなさんと支部長、まちづくり賞委員

<第17回 関西まちづくり賞 表彰プロジェクトの紹介>

花街・先斗町での町並み景観の維持保全・再生に向けたまちづくりの取り組み（京都府京都市） （受賞者：先斗町まちづくり協議会）

先斗町は京都を代表する花街のひとつであり、先斗町まちづくり協議会が主体となり、飲食店等の屋外広告物（看板）の自主改善に取り組み、先斗町にふさわしい歴史情緒あふれる街並みを取り戻しました。取組当初は、看板を自主改善すると、売り上げが減ることを心配される店主がいましたが、実際には、お客の歩くスピードが遅くなり、売上は下がらなかったと実感されています。これは、過剰な看板は街には不必要であるということを実証的に示すとともに、個々の店舗の看板を適切に規制することにより、通り全体としての最適化が図られたことを示すよい事例であると評価されました。



受賞おめでとうございます！



活動についてのプレゼンテーションのようす

全国初の2市にまたがる香里園駅東地区市街地再開発事業の取り組み（大阪府寝屋川市，枚方市）

（受賞者：香里園駅東地区市街地再開発組合，株式会社竹中工務店，寝屋川市，枚方市）

本プロジェクトは、大阪府の北東部、寝屋川市と枚方市の両市にまたがる京阪本線「香里園」駅の東地区（約2.6ha）において実施された市街地再開発事業です。このプロジェクトではなんとといっても「自分たちの街は自分たちでつくる」という気概と熱意を持つ住民の存在が際立っています。廃院する予定であった大学付属病院を、存続を望む11万人もの署名を集め現地建替を実現したことや、再開発組合の理事会・部会を300回以上開き、細部に渡る提案を設計者に示すなど住民の参画意識が非常に高く、歴史や地形をいかしたまちづくり、様々な都市機能が調和したまちづくりにつながったことが評価されました。



受賞おめでとうございます！



活動についてのプレゼンテーションのようす

関西大学佐治スタジオと佐治倶楽部によるまちづくり活動

－関わり続けるという定住のカタチによる農山村集落の地域再生－（兵庫県丹波市）

（受賞者：関西大学，丹波市，関西大学佐治スタジオ，佐治倶楽部，関西大学建築環境デザイン研究室）

本プロジェクトは、関西大学が2007年から兵庫県丹波市佐治に空家を再生した「佐治スタジオ」という活動拠点を構え、「関わり続けるという定住のカタチ」と「21世紀の故郷作り」をテーマに、丹波市と連携しながら、農山村集落の再生の仕組みづくりを行っているものです。関西大学は2007年に丹波市と協定を結び、2020年まで佐治スタジオを運営していくことが担保されています。運営は地域住民と大学関係者が主体の「佐治倶楽部」が担当し、専任スタッフが常駐しています。地域活性化の拠点として、まちづくりのシンクタンクとしての機能を発展的に拡充していく手法は、長期に及ぶまちづくり事業の実現を見据えた新しい試みとして評価されました。



受賞おめでとうございます！



活動についてのプレゼンテーションのようす

特別賞「都市再生賞」あべのハルカス（阿部野橋ターミナルビル）（大阪府大阪市）

（受賞者：近畿日本鉄道株式会社）

近鉄大阪阿部野橋駅は、JR大阪環状線、地下鉄御堂筋線などの7つの鉄道駅が接続する一大ターミナルであり、周辺は天王寺公園などの文化施設、様々な商業施設が立地する大阪を代表する文化・商業・交流ゾーンです。あべのハルカスは駅上部に位置し、百貨店のほか、ホテル、オフィス、美術館などが入る日本一の高さ300メートルを誇る超高層複合ビルです。ハード面においては、公共的な屋内歩行者空間の整備によって周辺地域からターミナルへのアクセス性の向上に寄与するほか、ソフト面では周辺の商店会や他の企業と連携した様々な取り組みにより、地区全体に賑わいを誘導する取組が行われていることが評価されました。



受賞おめでとうございます！



活動についてのプレゼンテーションのようす

中川委員長による講評

